

授業科目	ソーシャルワーク実習 I				単位	1		
履 修	選択	関連資格	社会福祉士		ナンバリング	WE21233J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	文屋 典子、荒木 剛、岡田 和敏、山本 佳代子、通山 久仁子、中川 美幸							
授業概要	<p>高齢者、障害者、障害児、医療、児童、地域福祉のいずれかの分野の実習施設において、実習指導者の指導の下、ソーシャルワークに係る専門的知識と技術、ソーシャルワーカーとしての価値と倫理に基づく態度・姿勢・判断・行動を実践的に学ぶ。</p> <p>ソーシャルワーク実習 I は原則として2年次に8日間実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>クライアントやその関係者、実習施設の職員等との基本的なコミュニケーションを通して人間関係を形成することができる。</p> <p>実習施設の機能と役割を理解し、関係する社会資源の機能と役割を説明することができる。</p> <p>クライアントへの権利擁護やエンパワメントについて理解し、実践することができる。</p> <p>社会福祉士の倫理に基づいた実践を行うことができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	0	30	70	100	
知識・理解 (DP1-1)					3	7	10	
知識・理解 (DP1-2)					3	7	10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					1	5	6	
思考・判断 (DP2-2)					3	7	10	
関心・意欲 (DP3-1)					3	7	10	
関心・意欲 (DP3-2)					3	4	7	
態度(DP4-1)					3	7	10	
態度(DP4-2)					3	7	10	
態度 (DP4-3)					3	7	10	
技能・表現 (DP5-1)					3	7	10	
技能・表現 (DP5-2)					2	5	7	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>ソーシャルワークの実践に必要な各科目で学んだ知識や技術を統合し、支援の方法を考え実践することができる。</p> <p>社会福祉士としての価値と倫理に基づき、適切な判断と行動をとることができる。</p>				<p>クライアントや実習施設職員等との基本的なコミュニケーションを通して人間関係を形成することができる。</p> <p>実習施設の機能と役割を理解し、社会資源の活用やクライアントの権利擁護やエンパワメントについて説明することができる。</p> <p>社会福祉士の倫理に基づいた行動をとることができる。</p>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	<p>1. ソーシャルワーク実習 I は、原則として 2 年次の間に 8 日間実施する。実習期間は原則として夏季休暇中または春期休暇中とする(一部例外あり)。</p> <p>2. ソーシャルワーク実習 I の実習施設は高齢者、障害者、障害児、医療、児童、地域福祉の分野の中から一施設を大学が決定する。</p> <p>3. 実習の目的、実習内容、実習に臨むに当たって必要となる書類や諸手続きについては、「ソーシャルワーク実習指導 I」の授業において説明する。</p> <p>4. 実習期間中および実習前後の個別指導は、各実習分野の担当教員が行う。</p> <p>※実習の準備状況(事前学習、健康状態など)によっては、実習開始をとりやめることもある。また実習開始後も、実習生として不適切な行為等があった場合は実習を中止し、単位を認めないことがある。</p> <p>その他、実習の履修要件についてはキャンパスライフの「ソーシャルワーク実習 I・II の履修要件」をよく読んでおくこと。</p>	実習	<p>実習前には実習分野・施設で必要となる基本的知識や技術について自己学習に取り組むこと。</p> <p>実習後の振り返りにおいては、他の科目の授業で学習した内容を振り返りつつ実習成果のまとめに取り組むこと。</p> <p>実習期間中は、各自が毎日、一日の実習を振り返り、実習記録を作成する。</p>	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	各実習分野の法制度やサービス、利用者の特性、支援技術等に関する知識を必要とする。			
テキスト	「ソーシャルワーク実習マニュアル」 西南女学院大学 保健福祉学部福祉学科			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	最新 社会福祉士養成講座 8 「ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習」[社会専門] 中央法規			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	他の科目で学ぶ授業内容への理解と自己学習等が深まるほど、実習での経験や学びもより充実したものとなります。各自積極的に取り組みましょう。			
達成度評価に関するコメント	その他(実習評価表・実習課題等の達成状況)、レポート以外の提出物(実習日誌、課題等)により評価する。			

